

## －外科系コース－

外科系 (消化器・一般外科)	医の倫理を体得し、かつ、診断と技術並びに手術前後の管理など一般外科診療に関する標準的総合的な知識と技量を修得した医師を育成し地域医療の向上に貢献することを大きな目標とする。これら研修の成果を学会で発表するとともに、日本外科学会専門医受験資格取得も目標のひとつとする。〔外科専門医受験資格：350例以上の手術手技を経験(うち120例以上は術者として経験)する〕	3年
-------------------	---	----

### <コース概要>

#### ・研修概要

研修期間	各年次の研修概要	取得可能専門医
1年目	①入院患者の主治医として指導医(上席医)の管理下で診断、手術、術後管理のすべての習得を開始する。 ②消化器疾患の検査手技の習得を開始する。 ③ヘルニア、虫垂炎、上部・下部消化器疾患、肝胆膵疾患の入院患者を担当し、手術の助手ないしは術者となって研修する。 ④消化管X線検査の研修を行う。 ⑤学会発表も年2回は行い、論文も作成する。	日本外科学会 外科専門医
2年目	①1年目の目標はそのまま継続して研修を重ねる。 ②胃内視鏡検査の研修を開始する。 ③消化器外科領域の癌症例も担当し腫瘍学についても知識と理解を深め、治療方針決定に関与する。手術の助手ないしは術者となって研修する。 ④心臓血管、呼吸器外科は他施設で研修する。(各約1ヶ月) ⑤学会発表・論文作成は年2～3回行う。	
3年目	①定時の外来診療を指導医(上席医)の管理下で行う。 ②1年目、2年目カリキュラムに加え、領域をこえた入院患者を担当する。癌再発症例の緩和医療にも加わり治療をすすめる。 ③内視鏡下手術をはじめ取り扱う手術全領域の手術助手ないし術者として研修する。 ④大腸内視鏡検査の研修を行う。 ⑤原則として3ヶ月間都立墨東病院ER・救命救急センターでの救急医療を研修する。(研修時期は東京アカデミーの指示に従う) ⑥外科専門医受験資格として万一研修症例が不足した場合は必要に応じて他公社病院、都立病院等に依頼して研修する。	

#### ・手術実績と経験目標手術件数

手術	実績:件数 (H24.1月～12月)	経験目標手術件数	
胃癌	74	25	12ヶ月
結腸癌・直腸癌	107	35	12ヶ月
肝臓癌	21	5	12ヶ月
膵臓癌・胆嚢癌	27	5	12ヶ月
乳癌	19	8	12ヶ月
胆石・総胆管結石	109	30	12ヶ月
鼠径ヘルニア	127	45	12ヶ月
急性虫垂炎	23	10	12ヶ月
小児科外科疾患	264	15	3ヶ月

### <指導体制>

コース名	該当診療科	該当診療科医師数		うち研修指導にあたる医師数
		常勤医師数(人)	非常勤医師数(人)	
外科系	外科	5	6	5

※シニアレジデント1名を含む。